



JPI催しのご案内

2026
11

公益社団法人日本包装技術協会

— 2026年度の本催しについて —

2026年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時	① 令和8年11月16日(月) 15:00～17:00
	② 令和8年11月18日(水) 13:00～15:00
	③ 令和8年11月20日(金) 13:55～15:55
	④ 令和8年11月27日(金) 14:00～15:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

① 令和8年11月16日(月) 15:00～17:00

JPI本部主催

【テーマ】紙と森 循環利用に向けて

紙は木から作られます。紙の原料となる木は森で育ちます。皆さんご存じのとおり、紙は回収され循環利用されています。では、森が循環利用されているかどうかを皆さんはご存じでしょうか。また、森と紙の間に循環は成立しているのでしょうか。本講演では、最初に紙の循環利用が成立してきた背景・歴史と想定される未来について説明・考察をします。その後、日本の森林の変遷と現状を紹介することで、国土の66%を森林が占める森林大国日本の成立経緯とこれからについてを説明・考察します。

これらの説明・考察をベースに、紙と森のそれぞれおよび相互の循環利用とその持続可能性（サステナビリティ）について、可能性を含めて考察を行います。

【講 師】王子ホールディングス株式会社 イノベーション推進本部森林資源研究センター センター長 友 田 生 織 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
- ・お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて **参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 令和8年11月18日(水) 13:00～15:00

JPI北海道支部主催

【テーマ】ココヨム ～視覚障がい者へのスムーズな情報伝達を目指して～

ロッテのPurposeである『人と人をつなぎしあわせな未来をつくる』のもと、パッケージ研究課ではインクルーシブデザインの発想を取り入れたパッケージの研究開発に取り組んでいます。

この度、視覚障がい者への調査から判明した喫食時に特に必要な商品情報である『商品名、賞味期限、アレルギー、アルコール使用』についての情報を集め、その情報の位置を触って分かるしくみ、『ココヨム』を開発しました。

これはスマホの読み上げアプリ利用時に「情報の記載場所が分からず知りたい情報を得るまでに多くの時間と労力を必要としている」という視覚障がい者の課題を解決するとともに、高齢者やアレルギー確認が必要な人など幅広い層の利便性向上にも寄与します。2026年9月より「プレミアムガーナ」や「チョコパイ」、「カスタードケーキ」等の既存商品へ導入を開始します。特別な設備技術を必要としないため多様な紙箱パッケージに実装可能であることから、ロッテでは『ココヨム』の取り組みを日本のみならず、海外も含めて広く世界に普及させ、社会インフラの一つとする 未来を目指しています。

【講 師】株式会社 ロッテ 中央研究所 パッケージ研究課 主査

柴 田 由 華 氏

③ 令和8年11月20日(金) 13:55～15:55

JPI西日本支部・東北支部共催

【テーマ】2026日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

●プログラム

	時間(目安)	テーマ
	13:55	開始あいさつ
①	14:00～14:25	<日本グラフィックデザイン協会賞> 『視覚障がい者へのアクセシビリティ対応「Guide for QR」：触覚誘導による情報アクセス支援』 ソニーグループ株式会社 フリエイティブセンター サステナブルデザイングループ シニアデザイナー 廣瀬 賢一 氏
②	14:30～14:55	<適正包装賞> 『アルミ付き紙容器の自社工場損紙を用いたリサイクル段ボール』 カゴメ株式会社 商品開発本部 新領域開発部 容器開発グループ 瓜生田 貴聡 氏
③	15:00～15:25	<贈答品包装部門賞> 『ギフト製品への改ざん防止構造カーテンの展開』 株式会社 久原本家グループ本社 研究開発本部 商品開発部 容器開発課 春山 元秀 氏
④	15:30～15:55	<輸送包装部門賞> 『「S'zキープ」小さなzが生む大きな変化！』 レンゴー株式会社 包装技術第二部 関東包装技術課 永松 良太 氏

※プログラムの順番・内容を変更させていただく場合があります。

また、進行の具合によっては発表時間が前後する場合がありますのでご注意ください。

※各入賞作品につきましては当会ホームページ<https://www.jpi.or.jp/>にて紹介しておりますのでご参照ください

④ 令和8年11月27日(金) 14:00～15:30

JPI本部主催

【テーマ】超音波式ヒートシール検査機 ULTRASONICA® ～ヤマハの“音”でシール不良を可視化する～

食品や医薬・化粧品の製品品質を大きく左右するヒートシール部では、内容物の噛み込みやシワ、弱溶着など外観からは判別しにくい不良が発生することがあります。一方、従来の目視検査や抜取・破壊検査だけでは、検査精度や作業負担、全数保証の面で課題が残ります。

当社では、ヤマハの音響信号処理技術と空中超音波アレイセンサーを利用して、ヒートシール内部の状態を非破壊・非接触で検査する「超音波式ヒートシール検査機 ULTRASONICA®」を開発しました。シール部を透過する超音波信号の変化を捉え、画像として可視化することで、目視では発見しにくいシール不良の検出と全数検査の自動化を実現します。

本講演では、超音波によるヒートシール検査の原理や特長、検出できる不良の種類、適用可能な包材・包装形態について解説します。さらに、包装機への組み込みや生産ラインでの活用事例を交えながら、導入時の検討ポイントと、ヒートシール品質保証の高度化に向けた取り組みを紹介します。

【講 師】ヤマハファインテック株式会社 FA事業部 FA技術製造部 商品技術グループ 主事

佐 藤 優 典 氏

★JPIWEBフォーラムに関するアンケート回答のお願いについて

日頃よりWEBフォーラムにご参加を頂きありがとうございます。

この度、次年度のWEBフォーラム開催に向け参加者の皆さまよりご意見を頂きたく、アンケートを実施致します。

お手数をお掛け致しますが、QRコードよりアンケートにご回答をいただけますよう、お願い申し上げます。

